

○「諫早市過疎地域の持続的発展市町村計画」分野別目標の達成状況一覧

※計画期間：令和3年度～令和7年度

持続的発展 施策区分	目標内容	基準値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	令和3年度 達成状況	令和4年度 達成状況	これまでの達成状況や効果、今後の計画及び取組方針	数的根拠等
2 移住・定住・地域間 交流の促進、人材育 成	移住定住支援事業による移住件数	4件	25件 (期間中)	4件	14件	小長井地域で新しく生活をスタートさせる世帯への支援である「小長井地域新生活支援補助金」は、補助額を他指定地域より嵩上げするとともに、対象世帯の要件を拡大する等、小長井地域への移住促進を図るための支援として継続して取り組んでいく。	令和3年度補助実績：4世帯(14人) 令和4年度補助実績：10世帯(28人)
	地域おこし人材の活用	—	3人 (期間中)	0人	2人	令和4年度に地域おこし協力隊を2人配置。うち1人は地域の持続的発展につなげるための核となる「山茶花高原ピクニックパーク・ハーブ園」の活性化を主な業務とする等、効果的な人材の活用を図っている。	令和4年 9月1日：1人配置(予定任期：令和7年8月31日) 令和4年10月1日：1人配置(予定任期：令和7年9月30日)
3 産業の振興	認定農業者数の維持	47経営体数	47経営体数	49経営体	53経営体数	令和4年度に5経営体の認定を更新し、4経営体の新規認定を行った。	更新：5経営体(個人5・法人0) 新規：4経営体(個人3・法人1)
	集落営農法人数の維持	1法人	1法人	1法人	1法人	農地中間管理事業を活用し、大豆、麦等の土地利用型作物、キャベツ等の園芸作物を栽培しており、引き続き地域農業の担い手を維持していくため、交付金等の活用についての支援を行う。	農事組合法人 柳新田(H28.6.8設立)
	農作物出荷数(輪菊)	832.8千本	1,242千本	1,311.4千本	1,284.1千本	新型コロナウイルスの影響対策として行っていた厳選出荷を緩和したことから、出荷数量は増加した。 今後は、スマート機材の導入による、省力化及び生産性向上を図り、地域農業の経営安定化に向けて取組む。	JAながさき県央きく部会及び諫早匠の菊出荷組合R4年産実績 (小長井地域生産者抜粋)
	農作物出荷数(みかん)	536.9t	675t	478.8t	321.9t	隔年結果や高齢化等による廃園のため、減収となった。 今後は、地域の中心的な担い手への集約や省力化機械等の導入を行い、樹園地の維持・拡大を行うとともに、隔年結果は正に向けた栽培管理を徹底し、地域農業の経営安定化を図り、活性化に向けて取組む。	JAながさき県央みかん部会R4年産実績 (小長井地域生産者抜粋)
	冷凍保管施設整備	1棟	2棟	2棟	2棟	コロナ禍における水産物対策として、令和3年度に諫早湾漁協が行う冷凍保管施設の整備を支援し、汎用性の高い冷凍品や付加価値の高い加工品の製造を可能とすることで、漁業者の所得向上を図った。	諫早湾漁協 冷凍保管施設整備 既存施設 1棟 令和3年度 1棟(2階建)整備完了
	改良型鋼製力キ養殖筏整備	3基	4基	4基	5基	諫早湾漁協が行う波浪に対する耐久性や作業の安定性を高めた改良型鋼製力キ筏の導入を支援すると、小長井地域の更なる力キ養殖の産地化及び漁業経営の安定化を図った。 令和5年度も鋼製筏1基の整備が予定されている。	諫早湾漁協 改良型力キ養殖筏整備 平成30年度～令和2年度 3基 令和3年度 1基 令和4年度 1基
	諫早湾漁協正組合員数の維持	91人	91人	82人	82人	漁業者の高齢化による組合員の減少が進んでおり、今後の持続的な漁業生産と漁村活力の向上を図るため、諫早市漁業担い手確保計画に基づき、新規漁業就業者の確保育成を推進する。	諫早湾漁協組合員数(小長井本所分) 正組合員119人(82人) 准組合員 32人( 5人) 合計 151人(87人)
	山茶花高原来園者数	99,232人	150,000人	125,382人	123,936人	昨年に引き続き12万人の来園者を維持できた。 令和4年度はリニューアル基本計画が示され、今後は内容精査の上、実施計画を令和5年度に策定する。より効果的な施策を展開出来るよう検討を重ね、更なる交流人口拡大を目指す。	山茶花高原リニューアル基本計画策定 香りの館空調等改修外
4 地域における情報化	高速ブロードバンドサービス加入世帯率	66%	69%	70%	69%	市が所有していた小長井地域ケーブルテレビ施設を民間ケーブルテレビ事業者へ譲与し、光通信サービスに対応できる通信施設への更新事業を市が財政支援し、令和3年度末までに完了した。 これにより小長井地域全域において超高速ブロードバンドサービスの加入ができ、加入数も目標に達している。	CATV・インターネット加入者 R2:1,199/1,824世帯(66%) R3:1,211/1,721世帯(70%) R4:1,206/1,732世帯(69%)
	公衆無線LAN(Wi-Fi環境)の整備箇所	—	2か所	0か所	1か所	R4年度設置1か所(小長井支所) R5年度可搬型Wi-Fi設置(小長井文化ホール)	R4年度設置1か所(小長井支所)

持続的発展 施策区分	目標内容	基準値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	令和3年度 達成状況	令和4年度 達成状況	これまでの達成状況や効果、今後の計画及び取組方針	数的根拠等
5 交通施設の整備、交通手段の確保	市道出口平床線道路改良工事整備率	68%	92%	78.7%	81.9%	現在まで、道路改良工事 R4までに140m 完了 今後計画、道路改良工事 R5 L=35m 完了予定 R5年度完了する見込み	事業費ベースの進捗率
	市道城崎船津線道路改良工事整備率	48%	68%	87.6%	92.6%	現在まで、道路改良工事 R4までに160m 完了 今後計画、道路改良工事 R5から L=22m 完了予定 R6年度完了する見込み	事業費ベースの進捗率
	市道陸橋線(徳ヶ頭橋)橋梁架替工事整備率	12%	100%	12.0%	12.0%	現在まで、概略設計 今後計画、詳細設計、工事	事業費ベースの進捗率
	市道風生鬼塚線(無名橋4)橋梁架替工事整備率	—	29%	—	—	今後計画、概略設計、詳細設計、工事	事業費ベースの進捗率
6 生活環境の整備	管路の耐震化率(水道施設)	13.9%	19.0%	14.2%	14.6%	老朽化している管や漏水の多い管について耐震管にて更新し、水道水の安定供給を図った。今後も更新及び耐震化を継続して実施し、安定供給を図る。	打越地区配水管敷設替工事(R4-1工区)施工延長 281.7m(うち耐震管268.9m)耐震化率12.1km/82.9km=14.6%
	接続率(下水処理施設3事業)	69.46%	75.00%	70.60%	70.97%	小長井地域の下水処理施設(特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業)については整備を完了している。今後も接続率の向上を図るため、専属の接続推進員による戸別訪問を実施する。	R4接続率内訳 特定環境保全公共下水道 70.62% 農業集落排水事業(遠竹) 75.84% " (田原) 68.47%
	消防ポンプ車の配備数	0台	1台	0台	0台	消防団員数の減少傾向に歯止めがかからない状況であるため、消防団活動を円滑に行うための組織再編に取り組んでいる。組織再編の状況に応じて整備を実施する方針である。	R5年度組織再編 ・7箇分団 → 1箇分団7部に再編
	分団研修所の整備数	7か所	8か所	7か所	7か所	消防団員数の減少傾向に歯止めがかからない状況であるため、消防団活動を円滑に行うための組織再編に取り組んでいる。組織再編の状況に応じて整備を実施する方針である。	R5年度組織再編 ・7箇分団 → 1箇分団7部に再編
	避難所の自家発電装置整備	0か所	1か所	0か所	0か所	非常用電源の設置にあたり、設置する広域避難所や施設の状況を踏まえた設計等が必要であるため、施設所管課と協議を実施。この結果を踏まえ、設計・設置工事を行う方針である。	設置候補施設:小長井文化ホール
7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	放課後児童クラブ数の維持	3クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ	小長井地域には現在3施設の放課後児童クラブ(学童クラブ)が設置されている。今後も利用希望者のニーズ量に対して適切に対応していく。	R4実績 3小学校区 3施設 登録児童数 44人
	ふれあいいきいきサロンの維持	16か所	16か所	16か所	16か所	諫早市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、自主的な集いの場や介護予防活動への支援として、ふれあいいきいきサロンの活動に対し補助金を交付しており、令和4年度は目標値である小長井地区のサロン数16か所を維持できた。今後も開催費補助に加え、介護予防活動への支援や、東部地域包括支援センターに設置している第2層生活支援コーディネーターとの連携を通して、サロン活動への支援を継続していく。	R4補助実績 補助対象サロン:16サロン 延べ開催数: 128回 延べ参加者数: 821人
	地域活動センターの活動等の推進による地域生活支援	2,209人 (延べ利用者数)	2,500人 (延べ利用者数)	2,213人	2,235人	障害者等の自立と社会参加の促進を図り、創作的活動や生産活動の機会の提供をおこなった。	小長井町に所在する事業所「ありあけ」の実績値

持続的発展 施策区分	目標内容	基準値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	令和3年度 達成状況	令和4年度 達成状況	これまでの達成状況や効果、今後の計画及び取組方針	数的根拠等
	タクシー料金助成での外出支援による障害者の社会参加促進	17人 (利用者数)	20人 (利用者数)	13人	12人	障害者の外出機会の拡大と社会参加に寄与した。	福祉タクシーチケット申し込み者で、小長井地域に住所がある方の実績
8 医療の確保	医療体制の維持	病院3か所 歯科診療所2か所	病院3か所 歯科診療所2か所	病院3か所 歯科診療所2か所	病院3か所 歯科診療所2か所	住民が安心して日常生活が営まれるよう、県央医療圏域内及び市内の医療機関と連携し、医療体制の確保が図られた。今後も引き続き医療体制の維持に努める。	病院3か所 歯科診療所2か所
9 教育の振興	小中学校屋内運動場照明設備LED化	2校 (令和2年)	3校	3校	3校	小中学校の屋内運動場照明設備の改修(落下防止及びLED化)を実施し、防災機能の強化及び利便性が向上が図られた。	実施済:長里小、小長井小、小長井中
	小長井文化ホール利用者数	15,197人 (令和2年までの5年平均)	17,000人	12,475人 (令和3年までの5年平均)	11,550人 (令和4年までの5年平均)	令和元年度までは例年、概ね基準値の利用者数を達成しており、市民の芸術文化の向上と生涯学習の推進に寄与している。令和2年度と3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により目標値を下回る結果となったが、段階的に感染対策が緩和されたことから、令和4年度は利用者数が戻りつつある。施設は老朽化が顕著となっており、令和4年度に外壁改修や空調機の改修を実施した。今後も利用者が安心して快適に利用できるよう、個別施設計画に基づき施設の維持管理を行いながら貸館事業を推進すると共に、魅力ある公民館講座の開催に努め、利用者数の増に繋げていく。	【利用者数の推移:過去5年度分】 (令和4年度) 12,045人 (令和3年度) 6,416人 (令和2年度) 7,958人 (令和元年度) 16,265人 (平成30年度) 15,067人
	小長井図書室利用者数及び貸出冊数	3,862人 17,531冊 (令和2年までの5年平均)	4,500人 21,000冊	4,442人 25,917冊	4,172人 25,585冊	小長井地域の小中学校やこども園や保育園、公民館などと連携しておはなし会を引き続き行う。今後も、地域の小中高生からティーンズスタッフを採用し、読書活動を推進する。	小長井図書室ティーンズスタッフの採用 (R4.10現在 8名)
10 集落の整備	自治会数の維持	7自治会	7自治会	7自治会	7自治会	7自治会及び地域運営協議会の活動を支援するため、自治組織事業補助や地域づくり協働事業など各種事業を実施。引き続き地域住民の主体的、自立的活動の活性化に結びつくよう、地域コミュニティ活動の支援を行い維持発展を図る。	R5自治会長名簿(R5.4.1時点):7自治会
11 地域文化の振興	郷土芸能保存伝承団体数の維持	5団体	5団体	5団体	5団体	令和3年度は、2団体が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を中止されたが、3団体に対し道具の修繕等に対して補助を行うことで活動を支援した。うち1団体は民間団体の助成制度を併せて活用している。今後も継続して直接補助または他の助成制度の周知等により活動を支援していく。	R3補助対象団体:5団体 (ただしコロナ活動中止に伴い補助金交付実績は3団体)
12 再生可能エネルギーの利用の促進	山茶花高原風力発電(風車)施設の維持	2基	2基	2基	2基	風力発電施設2基のうち1基が羽根の老朽化による破損により運転を休止した中で、1基運転により一定量の再生利用電力量の確保ができた。今後は風力発電施設を維持しながら、敷地の安全性や維持費などの費用対効果も考慮しつつ、効率的なエネルギーの確保のため、代替えとなる新たな再生可能エネルギーの活用も視野に入れ、検討を実施する。	R3山茶花高原再利用電力量 111,524KW R4山茶花高原再利用電力量 75,866KW

〈分野別目標達成状況の検証〉

令和4年度の分野別目標達成状況については、令和3年度未着手事業に新たに着手する等、おおむね順調に進捗している。  
令和4年度未着手事業についても、次年度以降、早期の着手が見込まれており、計画最終年度の目標達成に向け、進捗中の事業と併せ、実施状況の把握を行っていく。  
また、既に目標値を達成した事業についても、その効果について引き続き検証を行っていく。